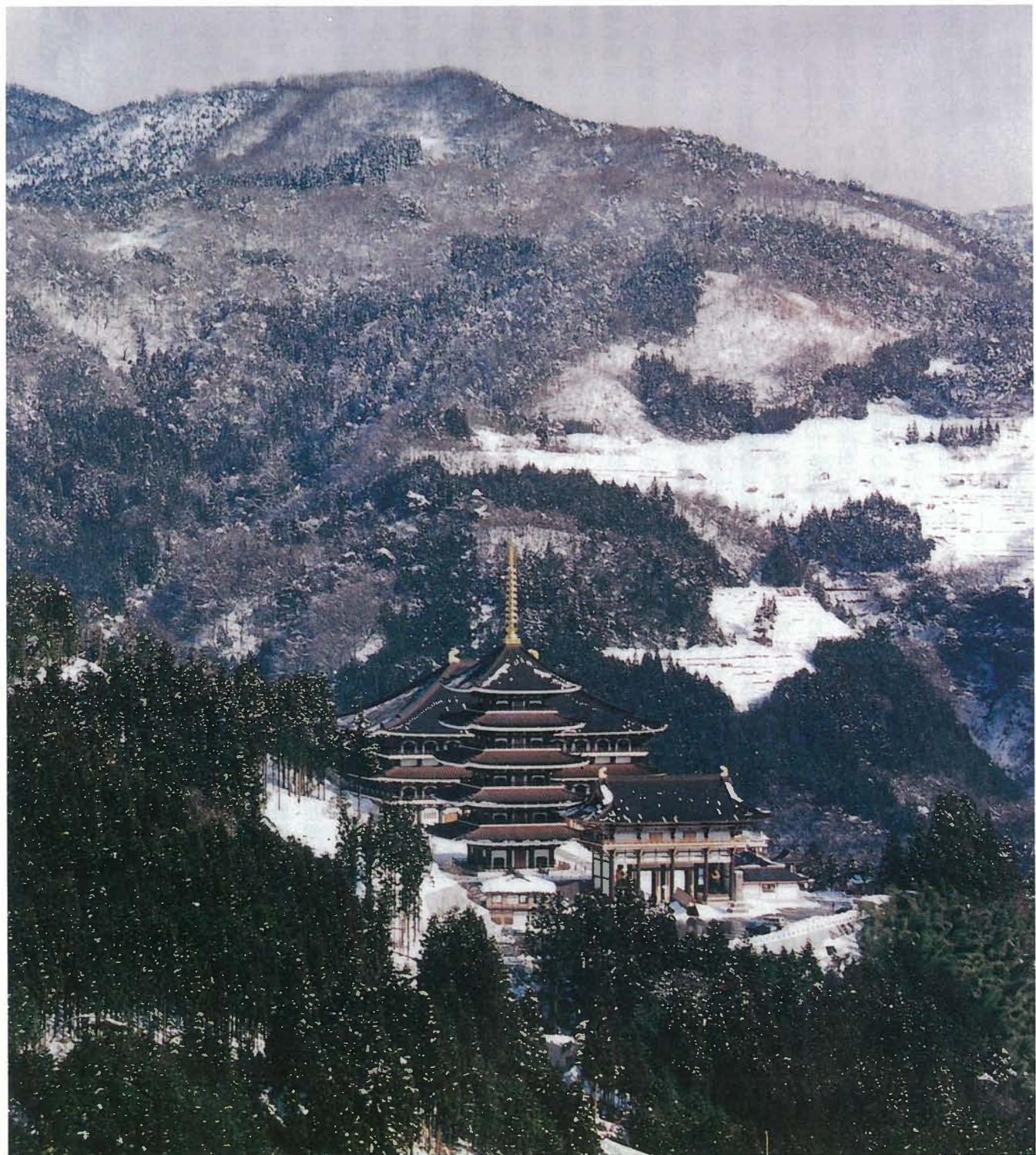


< 1 >



平成10年2月10日

発行／北但西部森林組合 美方郡村岡町和田233-1 ☎0796-95-0511



旧国道9号線より六台を望む 村岡町高津



新春を迎えて

北但西部森林組合
代表理事組合長 吉田ニ雄

明けましておめでとうござ
います。

組合員皆様には、御家族お
揃いで佳き新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

平素は、組合運営には深い
御理解と御協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

昨年は、国内において数多
くの出来事があり、波瀾万丈
の年であり、景気回復を期待
しておりましたが、相次いで
の金融機関の倒産などで、信
じられない出来事があり不景
氣風が一年中吹きさらし、円
安、株価の暴落等により日本
経済にかけりを見せ、第一次
産業はもろに影響を受ける事
態になりました。特に、組合
におきましては、木材需要の
低下、外材輸入の増加等によ
り、木材市場での木材価格が
一昨年よりも低下し、林家の

方々が森林に対して意欲を失
いつつありますことは誠に遺
憾であります。

今、地球の温暖化が大きな
課題となっております。 CO_2
(二酸化炭素)の浄化の役割

を果すためには、森林機能の
果す CO_2 の吸収が温暖化防止の
一環を担う公益機能を高く評
価し、 CO_2 の削減についても各
国においても相違があるもの
の、森林面積の広い国は削減
率を少くなくしようと言う動
きもあり、森林は如何に重要
であるかを再認識された今頃
であります。

又、森林は CO_2 だけでなく、
水資源の確保、動物保護、レ
クリエーションの場として、
人間が生活するためには森林

は絶対に必要であり、森林は
生活環境保全林としての役割
と、経済林としての役割の両

立を考えていいくことが重要で
はないでしょうか。

当組合管内においては、森
林面積五一、九二一ヘクタ
ルで、民有林四八、二七四ヘ
クタールのうち、人工林(ス
ギ、ヒノキ等)二三、三三四
ヘクタールで人工林率は四六
%となっております(平成八年
度林業統計書より)

戦後、植林されたスギ、ヒ
ノキ等の八令級(四十年生)
以上の木材蓄積量は一八六万
 m^3 余となっており、管内の人
工造林地の蓄積量は毎年增加
しております。今後増え続ける
蓄積量の消化を果すことが
組合の今後の課題であります。

今日の木材価格の相場では伐
採する方も少くそのために伐
採、搬出経費の削減を図るた
めに、昨年はタワーヤード一
台を導入いたしました。高性

能林業機械によって経費の削
減と合せて機械をフルに稼動
するためには、作業道がぜひ
必要であります。組合では、
作業道の推進を図り、作業道
の新設に対して受益者負担金
の一部の助成を考えております。

「組合改善五ヶ年計画」で
組合員に増資をお願し、九月
末で目標額に対し八五、二
%の達成率です。組合の健全
な運営には自己資本の充実が
必要であります。出資に対し御
協力ありがとうございます。

過疎と高令化が進行するこ
の地域において、山林不在者
所有者が増加しており、従っ
て山林の荒廃につながるので
はないかと予想されます。管
内山林を維持管理する事が
組合の使命でもあり、その基
本となる組合員の台帳を明確
にして林業の推進を考えてお
ります。

国においては、行財政改革
が実施されようとして今日、
特に林業に対しては厳しい現
状であります。振興のため
の制度を活用して森林を守ら
なければなりません。私は林

業の振興策として「人と道」
に力を傾注して、五ヶ町管内
の森林が、生活環境保全林、
経済林としての使命を果す森
林にする事が私の願いであり
ます。

本年は、各自治体が森林整
備推進の役割を担うことがで
きるよう森林計画制度を整え
ることを目的にして、財政面、
人材面及び技術面の充実を図
るよう改正されようとしてお
り、又二十一世紀に向けた森
林行政の在り方を検討してい
る林政審議会では、民有林に
対して公益的機能を發揮する
よう提言しており、荒廃の進
む森林は自治体や森林開発公
團が買い上げて公有林化する
などの構想もあり、行政と森
林組合とが、連携して、地
域の森林を守ることが必要で
あります。将来を展望して、
夢の持てる林業でありますと
願っています。

年頭に当り、私の抱負を申
し上げ、組合員各位の一層の
御協力を願いしますと共に
御健勝と御多幸を祈念して挨
拶いたします。



平成十年への期待

村岡林業事務所長 宝珠山範夫

新年明けましておめでとうございます。

組合員各位の皆様方におかれましては、良いお年を迎えたこととお慶び申し上げます。

さて、近年森林に対する国民の期待は大きいものの、林業に関しては非常に厳しい状況になっております。

特に地球環境問題では温暖化やオゾン対策が国際会議で議論されており、身近な問題としては、水資源の保全、国土の保全、生活環境の保全、保健休養の場の提供等国民の森林に対する公益的機能への要求も年々増大しております。

兵庫県では、平成六年度に二巡目のトップを切って第四十五回全国植樹祭を村岡町の滝川平で開催し、この年をみ

り、「森を拡げる」 地球環境の保全を果たすため森を育む新たな決意で世界にアピールする。

とり元年と定め県民総参加による「ひょうご豊かな森づくり構想」をスタートさせました。平成七年度には「ひょうご豊かな森づくり憲章」を制定し、森づくりを推進しております。森づくりの基本理念として、次の四つの目標をかかげております。

一、「森を守り」 次代を担う子供達に、森の大切さを伝える。

二、「森を育て」 森づくりへの参加意欲を高めるための県民運動を推進する。

三、「森を活かし」 多彩での県民運動を推進する。

一方、森林を林業面から見ると非常に厳しく、木材の八割近くを外材が占めており、このため国産材は価格が低迷し国内林業の活性化が図れず

が人工林の六十九%を占めており、そのほとんどの森林が除間伐を必要としております。近年木材価格の低迷が続いている、組合員の皆様もなかなか経営意欲がわかないことがあります。森林を放置されると経済的な森林をめざす森林としての価値もなくなり、また、林地の荒廃が進み森林の公益的な機能も失なわれるところとなります。

この森づくりの推進にあたっては北但西部森林組合も熱心に事業に取り組んでおられ成果も上っております。

一方、森林を林業面から見ると非常に厳しく、木材の八割近くを外材が占めており、このため国産材は価格が上昇するか、生産コストを下げて収益の増大を図るしか方法が考えられません。

北但西部森林組合は平成九年九月にタワーヤードを導入し間伐等の生産性の向上に努めておられ、また、作業道等の開設も一部で進み少しづつではありますが一步一歩前進しております。将来を期待されております。

平成十年は区切の年であります。トライ年であります。トライ年は前進の年であり林業もこのトライ年にあやかって力強く盛りかえしてくれることを期待しております。私達林業者もこのトライ年により以上の林業活性化を図る方策を検討し、町、森林組合、林業事務所の三者が一体となってこれらの問題に取り組み、健全な森林の育成や良質材生産に向けた森林整備を推進していければ公益的機能もおのずから発揮してくれるものと期待しております。

今後とも組合員各位の皆様方の一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後の皆様方のご多幸を祈念申し上げ新年のあいさつにかえさせていただきます。

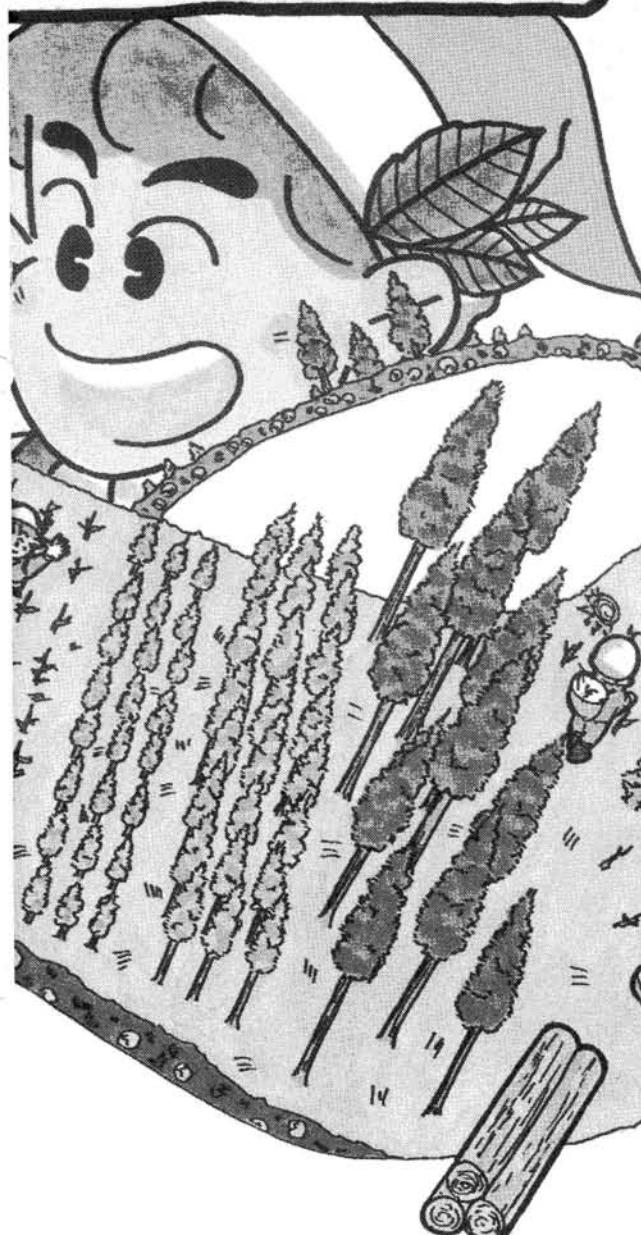
農山村地域では過疎化が進み、林業後継者の減少や高令化により森林の整備が進まず手遅れ林分が増大しております。特に西部管内では戦後に植林された森林が多く、林令が六年生から三十五年生の林分

が人工林の六十九%を占めており、そのほとんどの森林が除間伐を必要としております。近年木材価格の低迷が続いている、組合員の皆様もなかなか経営意欲がわかないことがあります。森林を放置されると経済的な森林をめざす森林としての価値もなくなり、また、林地の荒廃が進み森林の公益的な機能も失なわれるところとなります。

北但西部森林組合は平成九年九月にタワーヤードを導入し間伐等の生産性の向上に努めておられ、また、作業道等の開設も一部で進み少しづつではありますが一步一歩前進しております。将来を期待されております。

たしかに、木材は森林の樹木を切って生産されるものですから、木材を使わなければ、そのぶん森林は減らないでしょう。けれども、木材を使わないことが地球の環境を守ることになるとは言いません。なぜなら、木材は他の資源にはないすぐれた特徴をいっぱいもっているからです。いま、考えなければならないことは、森林がなくなつてしまわないような森林の利用のしかたと、木材の使い方なのです。

じょうず
つか
しんりん
きょう
じげん
上手に使えば、森林はなくなら
境にやさしい資源はないんだよ。



森のことはたらきもスゴいけど、
森林から生まれる木材もエラいんだね。

●木材は炭素貯蔵庫

樹木は光合成によって、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素（炭酸ガス）をからだの中に取りこみます。吸収された二酸化炭素は、樹木のからだの一部となります。ですから、森林の樹木が木材となり、木製品になります。生まれ変わっても、二酸化炭素は木材の中に閉じこめられたまま。木材が燃えたり、くさったりするとき、炭酸ガスとして空気中にもどります。



もり
森林のはたらきNo. 2

もくざい
木材はエラい資源



•木材は省エネルギー資源

物を生産するためには、原料とエネルギーが必要です。しかし、資源には限りがあります。むだに消費せず、上手に使うことが必要です。その点、木材は省エネルギーの優等生です。たとえば、製造時に消費するエネルギー量を比較すると、木質系材料（紙をのぞく木材を原料とする素材）の消費エネルギーは、アルミニウムの0.1~0.9パーセントであります。

•木材は環境にやさしい資源

木質系材料の場合、製造時に吐き出される二酸化炭素の量は、アルミニウムの0.1~1パーセント足らず。また、プラスチックなどとちがい、ゴミとして捨てられた場合にくさって土に返ることができるのも、木質系材料ならではの特長です。

•森林は再生できる資源

木材がほかの資源とくらべて、とくにすぐれている点は、木材を供給してくれる森林は、植えればまた育つて森林をつくるという点です。石油や石炭、鉄鉱石、アルミニウムなどの地下資源とちがい、森林は再生できる資源なのです。
環境に気を配りながら計画的に利用すれば、森林資源はなくなりません。

高性能林業機械導入

高性能林業機械のうち組合としては平成九年九月にショベル型タワーヤーダ一台を林業就業環境改善整備事業により導入し、本年採用の現業職員等によって稼動しております。

施業の遅れが目立って来ております。

一方地球温暖化防止のための京都会議が世界的に行われ、世界各国が温暖化防止に目標を設定し取り組む事が肝要で伐を推進していく事が肝要である。又、作業道の開設と並行し高性能林業機械を導入し、

数値を設定し取り組む事が決定し我国では六パーセントの削減目標を設定した訳ですが、その内、森林の吸収分は半分以上の三・七パーセントに決

定されたのをみても、森林のもつ機能の重要性を再確認しました。

そのためには「適正な森林」をつくる必要があり、山林所有者の理解を求め、強力に間伐を推進していく事が肝要である。又、作業道の開設と並行し高性能林業機械を導入し、

従来チェーンソーで行っていた伐採、枝払い、玉切りと集材しやすいように玉切りした材の集積を一貫して行う機械。北欧では皆伐、間伐に活躍している。

今回導入のタワー

ヤーダは集材距離が二〇〇メートル程度であれば、架

設、撤収とも三十

分程度で行うこと

が可能で従来の集材機と比較して機動

性が特に優れてい

るため、今後の活

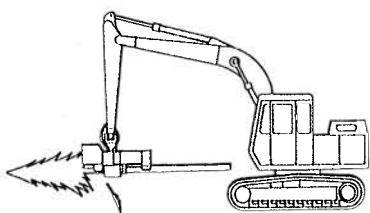
躍が期待されてお

ります。

高性能林業機械とは

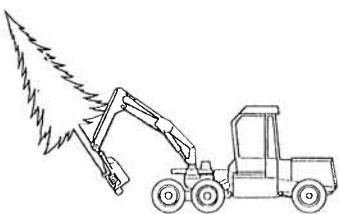
新しい作業システムに必要な高性能林業機械はまだなじみの薄いものだけに、簡単にどのような機械なのか紹介します。

• プロセッサ（造材機）



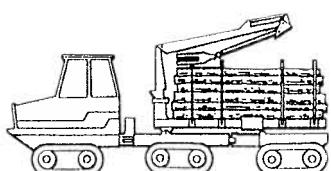
林道や土場などで全木集材した材の枝払い、玉切りを専門に行う機械。

• ハーベスター（伐倒造材機）



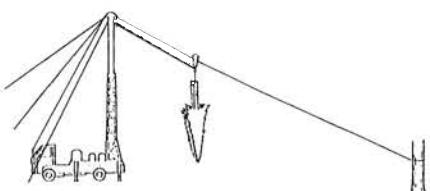
従来チェーンソーで行っていた伐採、枝払い、玉切りと集材しやすいように玉切りした材の集積を一貫して行う機械。北欧では皆伐、間伐に活躍している。

• フォワーダ（積載集材車両）



玉切りした短幹材を荷台に積んで運ぶ集材専用の車両。荷台に丸太を積み込むためのクレーンを装備している。

• タワーヤーダ（タワー付き集材機）



手軽に架線集材ができる人工支柱を装備した移動可能な集材機。急傾斜地での作業に向いています。



H 9年9月導入したショベル型タワーヤーダ

林業作業ごよみ

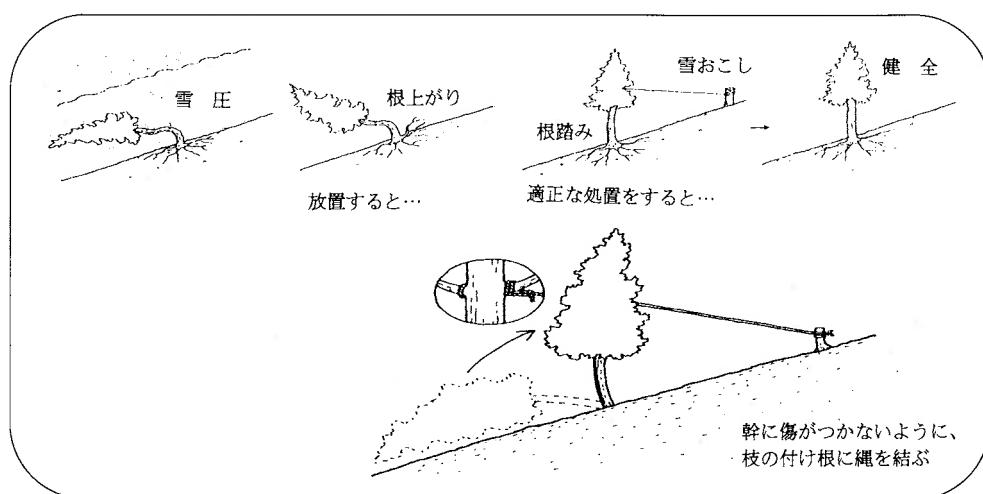
・雪害について

林木が雪によって被害を受けることを雪害といいます。森林の雪害には、林木が積雪中に埋まって雪圧によって発生する雪圧害と、樹幹部に積もった降雪の荷重によって発生する冠雪害、あるいは雪崩による被害があります。

特に雪圧害は、造林木が雪の下にある限り毎年発生する危険があります。埋設木は毎年倒伏しており、そのときに根元が浮き上がりてしまい、放置しておくと幹が斜立したままになって、翌年は一層倒れやすくなります。また、根が浮くことで成長にも悪影響が出ます。根の発達を促進し、樹高成長を早めるために必要な施業として雪起こしがあります。

・雪起こしの方法

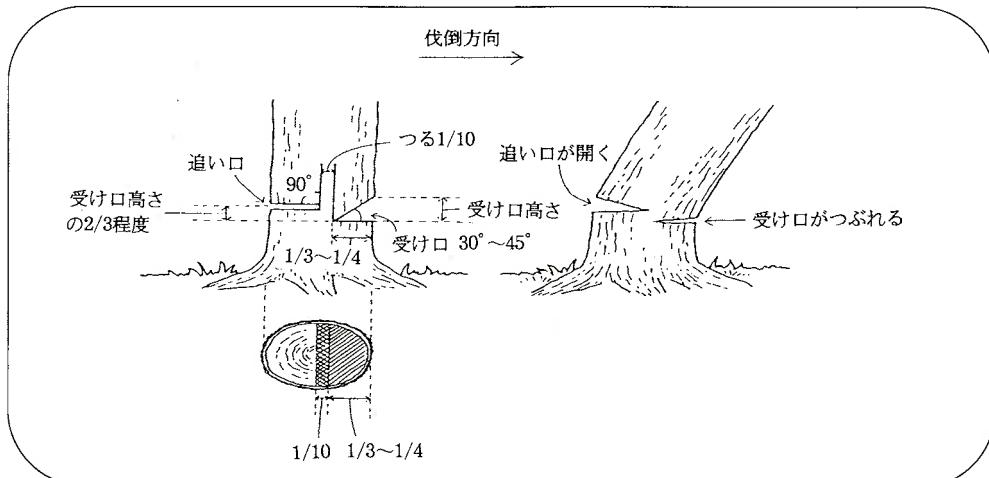
雪起こしは、雪圧によって倒伏した幼齢木を起こし、縄などで固定して、木を通直に育てる作業です。



・受け口、追い口

間伐作業などで木の倒す方向が決まれば、その方向に合わせて正確に「受け口」を作ります。受け口の深さは材の $1/4$ ~ $1/3$ ぐらいが適当です。追い口は、受け口の高さの $2/3$ 程度のところから切れます。

伐倒作業では、伐倒している木が割れて跳ねたり、思わぬ方向に倒れたりすることがあるので十分に注意して作業をしましょう。





表彰をうける田中真さん

・村岡町の田中真さん・
山行苗木生産で
農林水産大臣賞を受賞

平成八年度全
国山林苗畑品評
会に、すぎ二年
生の苗畑を出品
し、平成九年十
月二九日長崎県
島原市で開催さ
れた第四回全
苗連大会に於い
て、農林水産大
臣賞を受賞され
ました。

田中さんは、昭和五十年山
行苗木の生産を初めて二十二
年を経過し、その間林野庁長
官賞を二回受賞されるなど、
日頃の苗木養成に対する情熱
が、今回の受賞につながった
と思われます。

組合管内では、昭和六十年
に上田穂氏（村岡町宿）が受
賞され、今回で二人目の受賞
になりました。おめでとうございました。

木を植えて魚を殖そう

海の人人が豊かな森林づくり
のため「トチ」の木を植樹
香住町の「ふるさと香住塾」
(塾長吉川邦夫)では、豊富
な海魚の生息する海を取り戻
そうと、自然環境づくりに取
り組む中で、森林と海との係
りについて学習すると共に、
森林の植生態系の正常化を図
るため、優良広葉樹を植栽し、
矢田川流域の森林を守り育て
環境を整備する事が目的で、
去る十一月二日（日曜日）に
矢田川の源である美方町秋岡

地内の作業
道沿いの山
林に秋岡地
区との共催
による「ト
チ」の木の
植樹が、香
住塾会員ら
約五十名に
よって行わ
れました。

▲大きく育つてね
と期待を込めて
▼
植樹する親子

この様なこころみは、北海
道や宮城県でも行われており、
川上、川下問わず森林の持つ
公益的機能の重要性を再認識
していただくと共に、人間と
動物の共生が図られる森林づ
くりが必要であると痛感した
一日でした。

長森山まり
は、日本熊
森協会（会
名の参加者
長森山まり
香住塾の吉川塾長
（左）と熊森協会の森
山会長（右）

▲植樹をするふるさと
香住塾のメンバー

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。本年も広報「し
んりん」をよろしくお願ひ致
します。

昨年は、消費税の五パーセ
ントのアップに始まり、証券
会社、銀行の倒産と社会経済
を搖がし、不況のドン底と先
行き不安は募るばかり!!

森林・林業に於いても、住
宅着工件数の激減に加え、外
材輸入はますます増加し、國
産材の自給率は二割に満たな
い状況になり、原木価格に於
いても戦後最安値を記録する
等、記録更新（悪い方の）の
一年であったと思います。

新年を迎えた「トラ」年、
エルニーニョ現象の影響か暖
冬の気配、スキーオークション
のまま春を迎えるれば、水不足
に病害虫の大発生と農山村
にとって不安な年明けになっ
て居りますが、干支のトラン
は裏腹に耐える年になるよう
な気がいたします。

組合員の皆様には益々御健
勝で御活躍されます事をお祈
り致します。

森林共済セット保険

あなたの山林は災害に対して万全ですか？



お問い合わせは：北但西部森林組合 0796-95-0511
兵庫県森林組合連合会 078-341-5082